



SAGAMI

No.1 Noodle Restaurant Company

証券コード:9900

うどん

りん

第46期 報告書 | 2015年4月1日~2016年3月31日



■株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。第46期決算のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度は、当初、15年ぶりに日経平均株価が2万円台を記録するなど、景気は緩やかに回復しているように思われましたが、2016年1月には世界同時株安が発生し、経済の不透明感が増大しました。実質賃金においても、5年連続減少するなど厳しい環境が続いております。

外食産業の市場規模は、1997年をピークに減少を続けておりましたが、ここ数年は若干の回復基調にあります。しかしながら、人件費や家賃の上昇に加え、経済の先行き不安からお客様の節約志向も強くなっており、引き続き厳しい状況となっております。



このような環境ではありましたが、皆様のご支援のおかげで、当社グループは計画を上回る成果を挙げることができました。

2016年3月には、神奈川県に展開していた和食レストラン「濱町」6店舗がグループ入りし、内1店舗を「和食麵処サガミ」の新店としてオープンいたしました。また、昨年出店した「ミラノ万博」の大盛況を受け、イタリア・ミラノ市にて、「そば」と「なごやめし」のテストマーケティングを実施するなど、将来に向けた取り組みも推進しております。

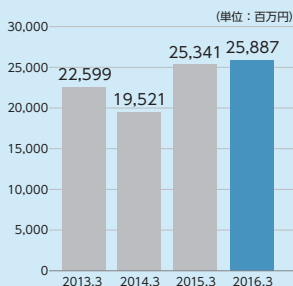
決算内容につきましては、当社グループの取り組みや中期経営計画とともに、本誌に記載しておりますので、ご高覧戴ければ幸いです。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

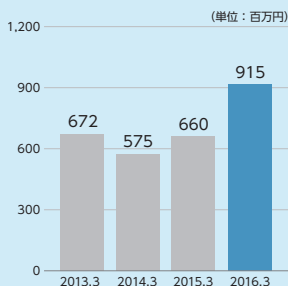
2016年6月

代表取締役社長 鎌田 敏行

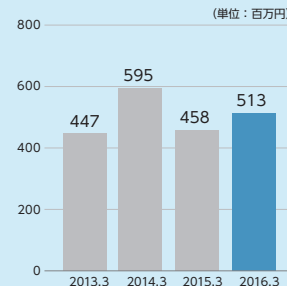
●連結売上高



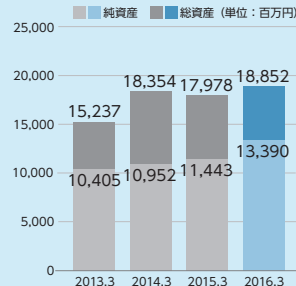
●連結経常利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



●連結純資産・連結総資産



(注) 2013年3月期より決算期を1月20日から3月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる2013年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」3つの基本戦略

■当期の業績と取り組み

Q. 当期の業績と取り組みについてお聞かせください。

当社の2016年3月期の連結業績は、売上高25,887百万円、営業利益876百万円、経常利益915百万円、親会社株主に帰属する当期純利益513百万円と、計画値（売上高26,300百万円、営業利益750百万円、経常利益800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益510百万円）に対して、売上は未達でありましたが、利益面で上回ることができました。

和食麵処サガミ、味の民芸、どんどん庵、あいそ家などの主要業態において、既存店舗の売上が前年を上回ったことが大きく寄与し、営業利益においても、前期の1.5倍を超える良好な結果となりました。

■経営の改善・改革

Q. 「中期経営計画」の対象期間である2年間を終えた今、これまでの成果と新たに浮かび上がった課題についてお聞かせください。

前中期経営計画では、当社ビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」を標榜しつつ、規模の拡大と経営の筋肉質化に向け、取り組んでまいりました。

国内においては、2014年1月にグループ入りした味の民芸フードサービスとのシナジー効果の極大化に努めたほか、2015年度には新たに小型店舗のフランチャイズ事業を推進するサガミマスターズを設立し、グループ企業それぞれの目的を明確化した事業会社体制を構築いたしました。これにより、時代の変化にスピード感を



持って適応できる組織体制となりました。

海外においては、今後の人口増加が予測されているASEAN地域に初進出し、タイ・インドネシアに5店舗出店した他、2015年5月には、イタリア・ミラノで開催された「ミラノ万博」に日本館のメンバーとして、出店いたしました。当博覧会には、意欲的な計画を策定して臨みましたが、その計画の1.5倍を売り上げる成果となり、大盛況で終えることができました。海外での店舗展開推進においては、当社の主力商品である「そば」「なごやめし」の知名度向上が大きな課題であると考えており、価値ある一步を刻むことができました。

また、数値面におきましても、低採算店の閉店、中国事業のフランチャイズ化など、選択と集中に取り組んだ結果、経営の筋肉質化を進めることができました。一方、出店が計画通りに進まなかった点が課題として残り、2016年2月より社外から立地開発の専門家を招へいし、現在、出店立地の確保に鋭意取り組んでおります。



Q. 今期から新中期経営計画がスタートします。概要とポイントについてお聞かせください。

新中期経営計画では、「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」の3つを基本戦略として取り組みます。グループの更なる成長を目指して、経営基盤の強化と主力業態の出店を推進してまいります。

特に今後想定される環境として、日本国内における人口減少、高齢化は間違いなく進行し、市場の縮小は免れません。そのような環境に対応できるよう、和食レストランとしての価値を追求する一方、小型業態の開発・展開、健康志向への対応、インバウンド対応、海外出店など、事業の拡大に取り組んでまいります。

また、事業環境における変化のスピードは激しさを

増しております。そこで、新中期経営計画策定にあたり、2年間は変更しない従来方式から、3年間の計画としつつ、1年毎に経営計画を検証して見直すローリング方式に変更いたしました。

■海外成長戦略

Q. ASEAN諸国など海外出店への取り組みをお聞かせください。

2016年の1月に、タイ3号店となる「SAGAMI Silom Complex店」を開店しました。インドネシアの2店舗と合わせ、ASEAN地域における5店舗目の出店となります。今回の出店地域は日本人駐在員や現地の若者が多く集まる繁華街エリアであることから、高いアルコール需要が想定されるため、日本各地の日本酒や焼酎を豊富に取り揃えました。海外における新たな業態フォーマットとして構築し、現地の飲食需要を開拓してまいります。

海外では汁麺文化圏に注力し、2020年にASEANで20店舗体制構築を目指しておりますが、ミラノ万博での成功を受け、4月よりイタリア・ミラノにてテストマーケティングを実施いたしました。万博という特殊立地だけではなく、街中の一般立地でも大いにご好評を戴けたことから、今後、欧州や米国での出店も検討を進めてまいります。

新中期経営計画（3ヶ年ローリングプラン）について

【目標数値】

（単位百万円）

	2017年3月期目標	2018年3月期目標	2019年3月期目標
売上高	26,000	26,500	27,100
営業利益	900	950	1,020
経常利益	950	1,000	1,070
親会社株主に帰属する当期純利益	550	580	630

【目標店舗数】

	2017年3月期目標	2018年3月期目標	2019年3月期目標
店舗数	273店舗	285店舗	296店舗

* 2016年3月末 268店舗

■企業価値向上

Q. サガミのブランド価値向上への取り組みについてお聞かせください。

ブランド価値向上への主要な取り組みの一つとして、認知度の向上活動があります。それには広報活動は元より、店舗網拡大と採用活動が重要な要素だと考えております。サガミでは長らく新卒の採用を控えて来ましたが、今後の出店に向けて、積極的な採用活動を再開いたしました。合同企業説明会や大学での講演などを通じた新卒や第二新卒に取り組むほか、パート・アルバイトからの社員登用や他社からのキャリア（中途）採用にも力を入れてまいります。

その他、IR活動も再開いたしました。昨年は、名証IRエキスポを皮切りに、首都圏では5ヶ所で、名古屋では2ヶ所で会社説明会を開催いたしました。味の民芸、濱町と首都圏での店舗網が拡大したこともあり、今期は、これまでの活動に加え東京で開催される大きなIRイベントである、日経IR・投資フェアにも参加し、関東における株主増加と知名度向上にも取り組んでまいります。

しかし、ブランドとは元よりお客様の評価そのものですので、お客様起点の視座を堅持し、グループ一丸となってお客様に満足戴ける食・時間・空間を今後とも地道に提供してまいります。

そのためにもお客様起点の原点を共有し、グループ全従業員のベクトルを合わせるため、新たに「サガミグループフィロソフィ」を策定いたしました。これは、グループが自発的組織の集合体となるべく、持つべき考え方、価値観、行動原則を示したものであり、現在、浸透、共有を進めております。

■株主の皆様へ

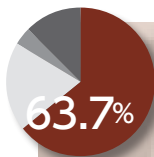
Q. 改めて株主の皆様へ今後に向けた決意をお聞かせください。

長く続いた不振から脱却し、主力業態である「和食 麵処サガミ」「味の民芸」の全店舗黒字化を達成することができました。大切なことはこの先も確実に事業を成長させることです。

外食産業を取り巻く環境は依然として厳しく、更なる改善を重ね競争に勝ち残っていかなければなりません。そうした中であって、高齢化は和麵を主力とする当社においては、追い風となります。この状況を活かしつつ、主力業態の拡大を目指します。また、新たな事業の柱となるようにフランチャイズ小型事業や海外展開も進めていく必要があります。これを達成できるよう、グループ経営の推進、組織力の強化に取り組んでまいります。

社会環境、市場環境は常に変化を続けています。市場が縮小しつつある外食業界においても、再編などの変化が起こり得るものと思われまます。我々は時代の波に飲み込まれるのではなく、スピード感を持ってこの変化に対応、順応、先取りできる企業となれるよう、常に危機感を持ちながら鋭意努力してまいります。株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

部門別外食事業の状況

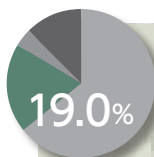
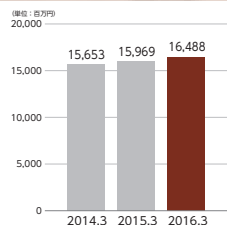


和食麺類部門

16,488百万円

和食麺類部門では、当社主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を3回、「料理フェア」を8回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を8回放映いたしました。これにより既存店客数は前年同一期間に対して1.3%増、客単価が前年同一期間に対して2.5%増となり、既存店売上高は前年同一期間に対して3.8%増となりました。店舗関係では、「濱町 いずみ中央店」を和食麺処「サガミ いずみ中央店」(3月)に業態転換いたしました。なお、当期末での店舗数は129店舗となりました。

■対象店舗

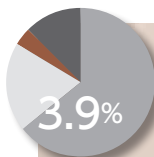
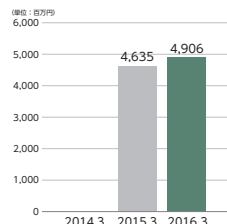


味の民芸部門

4,906百万円

味の民芸部門では、手延べうどん「味の民芸」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を10回実施したほか、「スピードくじ企画」を10回実施いたしました。なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み56店舗となりました。

■対象店舗

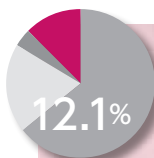
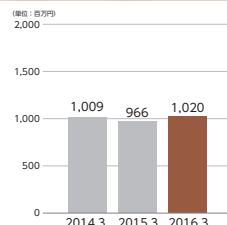


だんどん庵部門

1,020百万円

だんどん庵部門では、セルフサービス方式の「だんどん庵」において、「だんどん祭」を3回実施したほか、「料理フェア」を8回実施いたしました。なお、当期末での店舗数はFC店舗を含み37店舗となりました。

■対象店舗

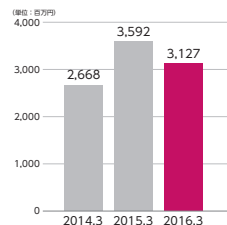


その他の部門

3,127百万円

その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」において「お客様感謝企画」を2回実施したほか、「料理フェア」を6回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「割引券配布企画」を6回実施いたしました。国内において「盛賀美 青山店」を「さがみ 青山店」(4月)に業態変更し、「濱町」6店舗を事業譲受いたしました。海外ではインドネシア ジャカルタのイオンモールBSD CITYに「SAGAMI イオンモールBSD CITY店」(5月)、タイ バンコクのショッピングセンターSilom Complexに「SAGAMI Silom Complex店」(1月)を出店いたしました。なお、当期末の店舗数はFC店舗を含み46店舗となりました。

■対象店舗



連結財務諸表 (要約)

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2016年3月31日現在	2015年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	5,174	4,343
固定資産	13,677	13,635
有形固定資産	9,248	9,069
無形固定資産	1,076	1,055
投資その他の資産	3,352	3,511
資産合計	18,852	17,978
負債の部		
2 流動負債	3,516	3,988
固定負債	1,944	2,546
負債合計	5,461	6,535
純資産の部		
株主資本	13,291	11,155
資本金	7,178	6,303
資本剰余金	4,280	3,405
利益剰余金	1,846	1,458
自己株式	△14	△11
その他の包括利益累計額	99	287
非支配株主持分	0	0
3 純資産合計	13,390	11,443
負債・純資産合計	18,852	17,978

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	25,887	25,341
売上原価	8,053	7,769
売上総利益	17,834	17,572
販売費及び一般管理費	16,958	16,992
営業利益	876	579
営業外収益	81	115
営業外費用	41	34
経常利益	915	660
特別利益	98	118
特別損失	282	245
税金等調整前当期純利益	730	532
法人税、住民税及び事業税	210	131
法人税等調整額	7	△54
当期純利益	512	455
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△2
4 親会社株主に帰属する当期純利益	513	458

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	前期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	1,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858	△276
財務活動によるキャッシュ・フロー	321	△1,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	82
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	670	△115
現金及び現金同等物の期首残高	3,298	3,413
現金及び現金同等物の期末残高	3,968	3,298

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

① 財務のポイント

- 1 流動資産**：流動資産は5,174百万円と前連結会計年度末に比べ831百万円増加しました。これは主に現金及び預金670百万円の増加によるものであります。
- 2 流動負債**：流動負債は3,516百万円と前連結会計年度末に比べ471百万円減少しました。これは主に短期借入金539百万円の減少によるものであります。

- 3 純資産**：純資産は13,390百万円と前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加しました。これは主に第三者割当増資による新株式発行によって資本金等が増加したものであります。
- 4 親会社株主に帰属する当期純利益**：親会社株主に帰属する当期純利益は513百万円となりました。これは既存店売上高の増加及びグループ経営による経費の削減効果が主な要因であります。

株主優待制度拡充のお知らせ

2016年9月30日権利確定日より株主優待制度を以下のように拡充いたします。

100株以上500株未満保有の株主様に20%割引券を年間4枚（半期2枚）贈呈

500株以上1,000株未満保有の株主様に20%割引券を年間10枚（半期5枚）贈呈

※一枚につき、割引上限金額は3,000円となります。

※株主優待券を含む他の券との併用はできません。

※ご飲食代金にのみご利用戴けます。

※「だんごん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「サガミ村」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」においては、20%割引ではなく、お一人100円割引とさせていただきます、一枚で4名様までご利用戴けます。

なお、1,000株以上保有されている株主様には、現状通り年間一律3万円分（消費税を含む）の株主優待食事券（半期1万5千円）を贈呈いたします。

和食麵処「サガミ」出店を再開

本年3月に神奈川県における郊外ロードサイドの大型和食業態である、和食レストラン「濱町」6店舗が、当社グループに加わりました。中部圏を中心に展開している当社グループにとって、関東地域を中心に展開している「味の民芸」に続き、神奈川県内におけるドミナント形成に寄与するものと考えております。「濱町」6店舗のうち3月17日「いずみ中央店」を皮切りに、5月12日「厚木文化会館前店」、6月9日に「座間店」をそれぞれ、和食麵処「サガミ」に業態変更をいたしました。引き続き、中部圏、関東圏を中心に主力業態の出店に取り組んでまいります。



イタリア・ミラノ市でテスト販売の実施

当社では、昨年ミラノ国際博覧会日本館へ出店しご好評を戴いたことを受け、本年4月12日から5月30日まで、イタリア・ミラノ市にある和食レストラン WellKome様の協力の元、当社の主力商品である「そば」「なごやめし」のテスト販売を行いました。メニューの提供以外にも、ブロガーを招いての試食会や、手打そば教室、日本のサガミ恒例の晦日そば食べ放題等のイベントを開催いたしました。想定を上回る反響があり、重点出店地域と位置付けているASEAN諸国に加え、欧州での出店についても更なる検討を進めてまいります。



(2016年3月31日現在)

■会社概要

商号	株式会社サガミチェーン
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	7,178,109,149円
従業員数	597名
本社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店舗数	268店舗
グループ企業	味の民芸フードサービス株式会社 株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード 株式会社サガミマイスターズ 株式会社サガミサービス サガミンターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役員 (2016年6月29日)

代表取締役社長	鎌田 敏行
代表取締役専務	伊垣 政利
取締役	長谷川 喜昭
取締役	伊藤 修二
取締役	長屋 昇
取締役	千住 憲夫 (社外)
取締役	遠藤 良治 (社外)
常勤監査役	神田 敏行
監査役	神谷 俊一 (社外)
監査役	福井 秀剛 (社外)

- (注) 1. 取締役 千住憲夫および遠藤良治の両氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 神谷俊一および福井秀剛の両氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

(注) 当社は、2015年3月16日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、2015年4月2日に払込が完了しました。この結果、資本金は7,178,109千円、発行済株式総数は26,501,784株となっております。

■株式情報

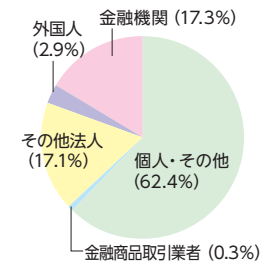
- 発行可能株式総数 74,630,000株
- 発行済株式総数 26,501,784株
- 株主数 14,137名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	1,194	4.5
アサヒビール株式会社	1,032	3.9
株式会社愛知銀行	923	3.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	588	2.2
北村昌夫	534	2.0
岩月康之	490	1.8
栗本美子	460	1.7
サガミ共栄会	446	1.7
株式会社昭和	433	1.6
第一生命保険株式会社	399	1.5

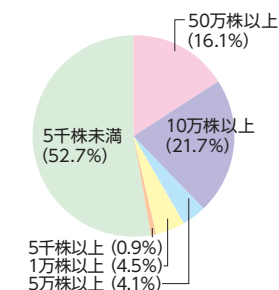
- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として14,723株を所有しております。

5. 株式分布状況

①所有者別分布



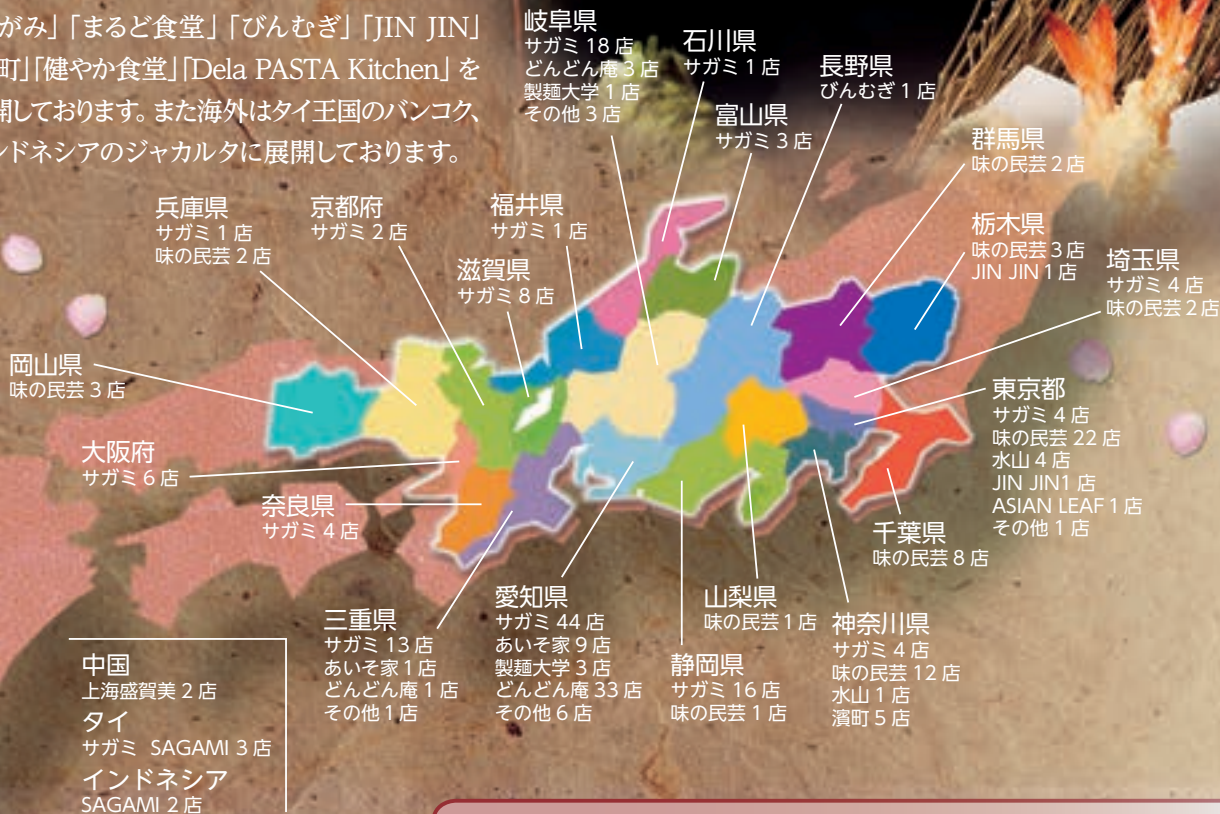
②所有株式数別分布



店舗ネットワーク

(2016年3月31日現在)

当社グループは、和食めん処「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「濱町」「健やか食堂」「Dela PASTA Kitchen」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、インドネシアのジャカルタに展開しております。



VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY設立

ASEAN諸国において、タイ、インドネシアに続き、ベトナムに進出するために2016年1月に現地法人を設立いたしました。

合計268店舗

サガミ

129店舗



和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わって戴くため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



味の民芸

56店舗



首都圏を中心に店舗展開しております。伝統の製法「手延べうどん」と和食の原点「手づくりだし」のおいしさを民芸の心あふれるくつろぎ空間でお楽しみ戴けます。

あいそ家

9店舗



カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店して戴けるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしております。

どんどん庵

37店舗



セルフ式の麺類店を展開中。メニューは「うどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」など。また、あんかけスパゲティの店舗も展開しております。

サガミ SAGAMI (タイ・バンコク)

3店舗



1月にはショッピングセンターSilom Complexに3号店をオープンいたしました。「なごやめし」「和麺」とともに、日本各地の「日本酒」「焼酎」を豊富に取り揃えており、お酒を楽しむ場としても日本文化を感じて戴けるようにしております。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告
定時株主総会	毎年6月下旬		事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。	インターネットホームページ	http://www.sagami.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) ○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufig.jp/daikou/		

■復興特別所得税に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**2013年1月1日から2037年12月末まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることになりました。

■株主優待のご案内

当社株式を1,000株以上保有されている株主の皆様方に、年間一律3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券(1万5千円を年2回)を贈呈しています。これは、株主の皆様に、当社のこだわりの味を実際に味わっていただくことが目的です。1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「陣屋サガミ」「盛賀美」「さがみ庭」「サガミ村」「さがみ」「まるど食堂」「びんむぎ」「JIN JIN」「濱町」「健やか食堂」「Dela PASTA Kitchen」全店でご利用いただけます。

※2016年9月30日権利確定日より株主優待を拡充いたします。詳細はトピックス(7頁)をご覧ください。



《権利確定日: 毎年3月31日、9月30日》
《発送予定: 毎年6月下旬、12月中旬》

■単元株式数変更のお知らせ

当社では、2015年10月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
電話 (052) 771-2126

